



小学部麻活「歩く・遊ぶ・知る」



小学部麻活「歩く・遊ぶ・知る」

小学部の麻活では、麻機地区を知ったり地域と関わったりするために、目的地まで歩く、遊ぶなどの体験や、地域のスライドや地図を見るなどの学習に取り組んでいます。

1、2年生は、遊水地やあさはた緑地公園に行きました。繰り返し公園に行くことで虫や草花に自分から目を向ける、遊具で思い切り遊ぶなどの姿が見られました。「また虫を探したい。」「公園に行きたい。」と言ったり、公園の写真を指さしたりして、麻機地区で活動することを楽しみにしています。

3、4年生は、友達や教師と一緒に自然を感じながら、麻機地区周辺の山道や鈴石山を歩きました。ウォークラリーを楽しみながら、葉の色づきを見たり木の実に触れたりして、秋の自然を感じました。山を歩く活動を繰り返すことで体力や脚力が付き、動植物を大切にすることができるようになってきました。

5、6年生は、第3工区の観察小屋やあずまや、ルンデ公園など様々な場所に行き、地域を知る活動をしています。低学年と中学年で積み重ねた歩く活動の経験を活かして、友達と一緒に行動したり一列に歩いたりすることができました。

全学年で、「みんなで麻活」というスライドを見て、麻機地区の動植物や他学部の麻活の様子を知る学習にも取り組んでいます。



あさはた緑地公園



鈴石山



観察小屋

(小学部麻活担当 望野亜里砂)

高等部 麻活 ～外部講師との共同学習

高1 静岡市環境指導員 派遣事業

高等部1年生では、「知る」をテーマに生徒の興味関心のある活動内容の中から「昆虫」「水生生物」「植物」の3つのグループに分かれ、調査、観察活動を行っています。10月には静岡市の環境指導員の皆さんと一緒に動植物を「見て、触れて観察する」ことで、地域の「自然の豊かさ」に気づき、生き物の生命力を感じ取ることができました。「植物には外来種が多い。」「水と土を守るために自分ができることをしたい。」と2年生の学習テーマに繋がる学びの姿が見られました。



高2 シードバンクの活動(国立環境研究所 西廣淳教授)

高等部2年生では、「麻機遊水地のためにできることを実践する」をテーマに調査研究、環境保全などの活動を行っています。シードバンクの学習は上級生から引き継がれ、2年生から学習が始まります。1年間を通して土壌を観察し、絶滅危惧種である「ミズアオイ」「タコノアシ」などのかく乱依存種(厳しい環境変化に対し、生き残りを図るため一時的に土中で休眠状態になり、外来種等の競争に弱くても生き残れる種のこと)の再生が確認され、人為的な土壌かく乱により希少植物を蘇らせることが検証できています。観察した後、里帰り(再び遊水地に戻すこと)の活動によってシードバンクを自然再生に活用し、継続して自然保全活動をしながら地域と関わり合い学習しています。



(高等部麻活担当 村田綾乃)

【本校への連絡】 電話 054-245-8191 FAX 054-245-9983

E-mail shizuokakita-sh@edu.pref.shizuoka.jp 地域連携課

○ホームページをぜひ御覧ください!

静岡北特別支援学校

検索



本校HP QRコード